

# 令和6年度 南アルプス市立八田小学校 自己評価書

令和7年1月29日 作成

学校長：石原 裕

記述者：教頭 長田 真紀

## 【小中一貫校八田小中学校の教育】

1. 教育目標 「ふるさとの未来（あす）を創造する児童生徒の育成」  
～知・徳・体の調和のとれた児童生徒の育成を目指して～
2. 『八田 Children first』「明るい 伸びゆく 夢みる」児童から「未来を展く 理想は高く 世界をめざす」生徒へ  
小中一貫校八田小中学校の教育は、【八田 Children first】をコンセプトに『1. 学習をつなぐ 2. 児童生徒をつなぐ 3. 教職員をつなぐ 4. 学校・家庭・地域をつなぐ』の4つの『つなぐプロジェクト』を柱とし、義務教育9年間で「途切れのない連続させた教育」となるよう取り組みます。
3. めざす児童生徒像
  - ふるさとに魅力を感じ、大切に思う児童生徒
  - 確かな知識をもつ児童生徒
  - 心身ともに健康で、たくましく生きる児童生徒
  - 豊かな人間性を持ち、他をいたわることのできる児童生徒

## 【学校経営の概要】

### I 学校教育目標

「豊かな心を持ち かしこく たくましい 子どもの育成」

#### 【めざす子ども像】

- [なかよく] 思いやりの心を持ち 礼儀正しく行動する子ども
- [かしこく] 自ら学び 友と対話し 深く考える子ども
- [たくましく] よく食べ よく運動し 命を大切にする子ども

#### 【めざす学校像】

- (1) 仲よく助け合い 笑顔の集う学校
- (2) 学ぶ楽しさにあふれる学校
- (3) 整然とした 美しい学校
- (4) 安全で安心な居場所としての学校
- (5) ふるさと八田と共に歩む学校

#### 【めざす教師像】

- 子どもとのふれあいを大切にし 子どもとともに成長する教師
- 自己を高め 創意工夫をして実践する教師
- 学ぶ姿勢をもち お互いに磨き合う教師
- 目標に向かって協働し合う教師
- 心身ともに健康で 児童・保護者・地域・同僚から信頼される教師

### II 学校経営基本方針

「知・徳・体の調和のとれた『生きる力』をはぐくむ教育の実現」

- (1) 山梨県教育大綱・山梨県教育振興基本計画、南アルプス市教育大綱、南アルプス市教育振興プラン、山梨県学校教育指導重点、各種法令に則った教育活動を行う。
- (2) 小中一貫校として、地域に開かれた信頼できる学校づくりに努める。
- (3) 子どもが安心して安全に生活できる学校づくりに努める。
- (4) 教職員としての資質能力の向上を図り、信頼される教育活動の実践に努める。
- (5) 保護者や地域、関係諸機関との連携により、望ましい教育環境づくりに努める。

### III 学校経営の重点

- (1) 小中一貫校として、またコミュニティー・スクールとしての特色を生かした教育活動を展開し、全職員によるカリキュラムマネジメントを通して、より実効性のある教育課程の編成と実施に努める。
- (2) 学習指導要領のねらいに即し、確かな学力と求められる資質・能力の育成に努める。
- (3) 豊かな心を育み、学校に来ることが楽しみに思える心地よさのある集団づくり・人間関係づくりに努める。
- (4) 命、体力、健康・安全、食育に関する指導の充実に努める。
- (5) 多様な学びの場を通して特別支援教育を推進し、その充実に努める。

# I 全体評価

## 1. 教職員の自己評価 (22名実施)

### (1) 自己評価の特徴

#### ① A・B (肯定的評価) の合計が100%の項目について

- 1: 児童生徒一人ひとりが目標を持って学校生活を送れるよう指導を行っている。
- 2: 児童生徒は楽しく学校生活を送っている。
- 4: いじめなどの諸問題に対して、お互いに情報を共有し、組織的に取り組んでいる。
- 6: 学習のアイテムなどを活用して、「主体的・対話的で深い学び」への授業改善に努めている。
- 8: 小笠原流礼法や立腰教育を意識した、心と体のバランスのとれた児童生徒の育成に努めている。
- 11: 保護者(家庭)と情報を共有し、指導に取り組んでいる。
- 13: 各種たよりやHP等により行事や授業などの情報提供を積極的に公開することを通して、「地域に開かれた学校」となるよう努めている。
- 14: 外部関係機関と連携し、児童生徒の健全育成に努めている。
- 16: 児童生徒の安全が確保されるよう、防災教育・防犯・交通安全などの安全指導に努めている。

A・B (肯定的評価) の合計が80%未満の項目について 「なし」

#### ② D (否定的評価) がついた項目について

- 3: Q-U、アドジャン、学級力アンケートなどを活用して児童生徒理解、人間関係づくりに努めている。

#### ③ 昨年度学校評価との比較 (改善した項目、肯定的評価が減少した項目)

##### ○ 改善した項目

- 10: 小中の児童生徒の交流や職員の交流を積極的に行っている。 (R5→R6 の変化) (83.3%→90.9%)

##### ● 肯定的評価が減少した項目

- 3: Q-U、アドジャン、学級力アンケートなどを活用して児童生徒理解、人間関係づくりに努めている。 (100%→86.4%)

- 12: 地域の人材や施設を利用するなどの、地域の教育力を生かした教育活動を行っている。 (100%→86.4%)

### (2) 今後に向けた課題 (自由記述より抜粋)

- ・学校・家庭・地域の連携がさらにできればと感じている。いろいろな場面でさらに協力していただけるよう依頼できればと思う。(授業の中でも)
- ・保護者の方が学校応援団として、学校教育に関わってくれることが増えてきた。来年度は今年度より多くの保護者が学校運営や学校教育に携わってくれるように、アナウンスをしていくとよい。

## 2. 児童アンケート (276名実施)

### (1) 児童アンケートの特徴

#### ① A・B (肯定的評価) の合計が80%以上の項目について

18項目(睡眠時間、携帯・スマホに関わる質問項目は除外)中、13項目において、肯定的評価が80%以上となっている。また、そのうち9項目で肯定的評価が90%を超える結果となった。

#### ② A・B (肯定的評価) が低い項目(80%未満)について

(R5→R6の変化)

4:あなたは、よい姿勢で授業を受けていますか。(67.1%→79.3%)

12:あなたは、授業中、発表していますか。(グループでの話し合いも、はいます)(80.9%→78.3%)

13:あなたは、宿題のほかにも家庭学習(じゅく・かていきょうしは、いれませんか)をしていますか。(65.2%→63.0%)

14:あなたは、家で読書をしていますか。(宿題は、いれませんか)(68.3%→62.7%)

16:あなたは、きそく正しい生活(早ね・早おき・朝ごはん)ができていますか。(82.1%→79.7%)

### (2) 昨年度との比較

#### ① A・B (肯定的評価) の合計がある程度増加した項目

(R5→R6の変化)

4:あなたは、よい姿勢で授業を受けていますか。(67.1%→79.3%)

#### ② A・B (肯定的評価) の合計がある程度減少した項目

(R5→R6の変化)

1:あなたは、学校が楽しいと思えますか。(96.0%→92.0%)

2:あなたは、学校で時間を守っていますか。(97.1%→93.8%)

5:あなたは、くつやトイレのスリッパをすすんでそろえていますか。(93.6%→88.0%)

12:あなたは、授業中、発表していますか。(80.9%→78.3%)

14:あなたは、家で読書をしていますか。(宿題は、いれませんか)(68.3%→62.7%)

### (4) 3学期～来年度に向けた取組課題

#### ① 肯定的評価が80%未満の項目を改善することを課題とする

4:あなたは、よい姿勢で授業を受けていますか。(67.1%→79.3%)

12:あなたは、授業中、発表していますか。(グループでの話し合いも、はいます)(80.9%→78.3%)

13:あなたは、宿題のほかにも家庭学習(じゅく・かていきょうしは、いれませんか)をしていますか。(65.2%→63.0%)

14:あなたは、家で読書をしていますか。(宿題は、いれませんか)(68.3%→62.7%)

16:あなたは、きそく正しい生活(早ね・早おき・朝ごはん)ができていますか。(82.1%→79.7%)

#### ② 携帯、スマホの使い方について、引き続き、保護者とのルールづくりを推奨する。

(71.2%→75.6%)

### 3. 保護者アンケート (231名実施：兄弟姉妹がいる場合も、児童数分の回答をお願いした。)

#### (1) 保護者アンケートの特徴

##### ① A・B (肯定的評価) の合計が90%以上の項目について

15項目(携帯・スマホに関わる質問項目は除外)中、10項目において、肯定的評価が90%以上となっている。

- 1：お子さんは、楽しく学校生活を送っていると思いますか。(94.8%)
- 2：学校は、いじめの未然防止や子供たちの間違った行動に対して、指導していると思いますか。(93.9%)
- 4：学校には、お子さんのことで相談できる先生がいますか。(95.7%)
- 5：学校は、わかりやすい授業を行っていると思いますか。(98.3%)
- 6：学校は、お子さんが考えを発表する機会を持っていると思いますか。(97.8%)
- 11：学校は、保護者と情報を共有し、児童生徒の指導にあたっていると思いますか。(92.2%)
- 12：学校は、地域の教材や地域の教育力を生かした教育活動を行っていると思いますか。(92.2%)
- 13：学校は、各種たよりやホームページ等を通して積極的な情報提供を行ったり、行事や授業を積極的に公開したりすることを通して、「地域に開かれた学校」となるよう努めていると思いますか。(95.7%)
- 14：学校は教育活動に適した施設・設備が整っていると思いますか。(94.4%)
- 15：学校は、防災・防犯・交通安全などの安全指導に努めていると思いますか。(94.8%)

##### ② A・B (肯定的評価) の合計が80%未満の項目について

15項目中2項目において、肯定的評価が80%未満となっている。

- 7：お子さんは、宿題以外にも家庭学習に取り組んでいますか。(59.3%)
- 9：お子さんは、ご家庭で整理整頓ができていますか。(45.9%)

##### ③ 携帯・スマホに関わる質問

- 16：お子さんは自分のスマートフォン(携帯電話)やタブレットを持っていますか。(はい:39.8%)
- 16：スマートフォン(携帯電話)やタブレットを持たせている場合、お子さんと使い方についてルールを決めていますか。(はい:84.8%)

#### (2) 昨年度との比較

##### ① A・B (肯定的評価) の合計がある程度増加した項目

(R5→R6の変化)

- 4：学校には、お子さんのことで相談できる先生がいますか。(91.5%→95.7%)
- 7：お子さんは、宿題以外にも家庭学習に取り組んでいますか。(55.4%→59.3%)
- 8：お子さんは、ご家庭であいさつができていますか。(85.7%→88.3%)

##### ② A・B (肯定的評価) の合計がある程度減少した項目

(R5→R6の変化)

- 3：お子さんには、困ったことがあった時に相談などのできる友だちがいますか。(89.4%→85.3%)

## II まとめ(成果と課題)

「教職員自己評価」「児童アンケート」「保護者アンケート」の結果から、今後、以下の事柄について改善をしていく必要がある。

### (1) 学習保障と学力向上のための取組

#### 【成果】

- 校内研における研究主題「基礎・基本を習得し、活用し探究していく子供の育成 ～個に応じた主体的な学びを通して～」のもと、学習者主体の授業を目指し、講師を招聘した学習会・研究授業の実施・日々の授業実践をおこなってきた。このことが「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につながっている。
- ICT等の活用方法も一元的でなく、課題に合わせて一斉学習・個別学習・協働学習といった様々なスタイルで用いるようになっている。このことが「個別最適な学びと協働的な学び」を目指した授業改善に結びついている。

#### 【課題】

- 授業では、自分の考えを伝える活動として、子供たちが自由に友達と意見交換をする場面や、学び合いをする場面、全体の場で発言するといった様々な手法で取り組んでいるが、児童アンケート「あなたは、授業中、発表していますか。(グループでの話し合いも、はいます)」では80.9%から78.3%と80%未満に戻っている。
- 家庭学習をする子供の割合は、年々少しずつ改善しているが、割合としては依然低い傾向にある。

#### 【対策】

- ◎ 3学期よりSimplifyプログラムを全校で取り組むことになった。小グループの中で、決められたプログラムに沿って話し方・聞き方・意見を交換する活動を通して、「伝える」力、「かかわり」の力を伸ばしていく一助とする。
- ◎ 毎月行っている「家庭学習パワーアップ週間」は、保護者の協力のもと実施している。今年度は、参考となる家庭学習ノートをコピーしたものに、校長のコメントを書き入れ、子供の参考になるようにして児童玄関に掲示を行った。子供たちが毎回楽しみにしており、熱心に掲示を見ている。紹介は、効果が期待できるため継続していく。

### (2) いじめ・不登校に対する取組

#### 【成果】

- 毎学期実施している「いごちアンケート」の活用と情報共有、結果の分析と方向性の確認をすることで、共通の課題意識と指導方針をもち対応することができている。
- 日常的な見取りや、保護者からの相談に対して、関係職員や管理職を含め、組織的な体制をとりながら迅速かつ丁寧に対応することができている。
- 校内委員会・モニタリング会議・訪問支援をはじめ、状況に応じケース会議を設定し、特別支援学校のセンター的機能の活用、外部機関との連携を図りながら児童理解に努め、支援の在り方について共有し、子供一人ひとりにとって安心安全な学校づくりに努めている。

#### 【課題】

- 「学校が楽しいと思いますか」に対して、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」と答えている児童が8%いる。
- 自分のスマートフォンを持っている子供の割合が35.5%から39.8%と若干増えていることに対して、使い方のルールについて決めている割合は88.6%から84.8%と若干減っている。

#### 【対策】

- ◎ 学校生活を楽しく感じていない子供は、どのようなことが楽しくないのか、学習面でのつまずき、人間関係などを見取り、改善していく必要がある。日常的な声掛け、学年職員や生徒指導主任、管理職と情報共有を行い、実態を把握する中で組織的な対応を継続していく。
- ◎ いじめの認知件数は増えており、早期発見・早期対応につながっている。今後も、全教職員で子供たちの見取りや情報共有を行い、共通理解のもと指導していく。
- ◎ スマートフォン(携帯電話)やタブレットのルール作りについては、学校相談・個別懇談・授業参観等の機会を活用して推奨しているが、保護者を含めた学習会の必要性を感じる。

### (3) 地域に開かれた学校づくり・コミュニティ・スクールの定着に向けた取組

#### 【成果】

- 今年度から、保護者や学校運営協議会をはじめとする関係者の参観に関しては人数の制限をせず、学校開放を行った。多くの方たちに参観していただき、学校の様子を知っていただくことができた。
- サポートティーチャーや学校応援団の皆様には、行事だけでなく学年の校外学習や授業にも関わっていただき、学校全体がさらに充実した環境を得ることができた。

- 子どもを守る会の代表者による、毎月の定例会議の中では、様々な視点からご意見をいただき、子どもたちが安心安全に過ごせるよう、子供たちや保護者への注意喚起、安全対策の見直しを図ることができた。
- 八田中教員による八田小での乗り入れ授業、八田中陸上部による6年生陸上記録会に向けての練習指導、生徒会児童会によるあいさつ運動、小中合唱交流会等による小中連携を推進することができた。

**【課題】**

- 八田小中学校グランドデザインを意識した取り組みの推進を図る。

**【対策】**

- ◎ サポートティーチャー増員に向けたアナウンス、HPや学校だよりによる活動内容を発信し、さらに充実した学習環境づくりを目指す。
- ◎ 小中それぞれの校内研究に可能な範囲で参加した後の、情報等の共有を推進し、教職員が学び合う機会をつくる。
- ◎ 小中一貫教育推進研究会の4つの部会を基本とし、小中合同で義務教育9年間で「途切れのない連続させた教育」となるよう取り組む。

**(4) その他**

**【課題】**

- あいさつを基本とした、伝える力の育成、人間関係の基盤づくり。

**【対策】**

- ◎ 中学校は教科担任制や部活動等で、生徒が他の教職員と関わる機会が多い環境にあるため、教職員からの働きかけがしやすい。小学校では、子供が担任や学年職員との結びつきが強く、他学年の教職員との関わりが少ない環境にある。廊下ですれ違ったときに、あいさつができなくても、教室に入るときには、担任の先生に向けて元気にあいさつができる子供が見られる。また、過去の担任には、あいさつが返せる。あいさつは、伝える力の育成、人間関係の基盤づくりという認識のもと、教職員からさらに積極的な声かけをしていくことの必要性を感じる。